

第3学年 国語科学習指導案(略案)			
令和7年 1月 24日(金)3校時		場所:3年教室	
単元名 『俳句に親しもう』(総時数3時間)			
ねらい			
学校図書館活用のポイント (ねらいとの関連をふまえて)	*児童が俳句の言葉の響きやリズムに親しみ、俳句作りができるように、学校司書との連携を図る。		
展開	めあて:俳句の決まりを知ろう! ①本時の確認 ②俳句の決まりについて知る ③学校司書の俳句の紹介 ④俳句の終わりの5文字作り ⑤振り返り	★学校図書館との関わり 学校司書との『〇〇タイム』 ③本の中から、3つ程度俳句を紹介する。最後にお気に入りの俳句を紹介し、学校司書が感じたことを児童が想像できるように伝える。	
めざす児童・学習集団の姿	低学年	中学年	高学年
①学習の楽しさを感じている児童	◇教科の本質を楽しみ、達成感や気持ちよさなどの「やりがい」を感じる児童 ◇学びを生活や学習に楽しみながら活かそうとする児童		
②自分と周りを大切にしながら自らを高めようとする児童	◇自分の考えをもって取り組む	◇「問い」や「自分の考え」をもつ ◇自分で選んで決めたことに向かって、試行錯誤しながら取り組む	◇「問い」をもったり「自分の考え」を練り直したりする ◇自ら学びを選び、学びをデザインし、自身の学びが最適になるように調整する
③自分と周りを大切にしながら仲間と共に高まろうとする児童	◇自分の考えを伝えたり、仲間の考えを聞いたりしながら取り組む	◇自分の考えを伝えたり、仲間の表現に質問したりしながら取り組む	◇自分の考えを伝えたり、仲間の表現に質問し発展させたりしながら取り組む
重点(☑を入れる)	研究の視点		A:子どもの姿 B:教科等のねらい
☑	① 教科等の『楽しさ』をあげよう ☆ねらいを明確にし、子どもの知的好奇心や感情を揺さぶり『わくわく』を大切に学習計画をつくる		A —————→ B
☐	2 自分を見つめる『楽しさ』 ☆試行錯誤する場を大切に、学びのよさを子どもと共有する		A —————→ B
☐	3 仲間との『楽しさ』 ☆考える視点を明確にし、子どもの表現と表現をつなぐ学習をデザインする		A —————→ B

